

マヌケとかお

人のがお 人の象徴とも言える

それが羨まのは年を取ったばかりで若い

長い間おの争いでいると 生活の変化が

自然に親に出て ちかづいたなれと思ふ

マヌケをして三年目

いつもずつとマヌケのおおを見ていよ

つづり目のまわりを見ていよのち

ある目マヌケを教ると

こんな新だつたおお と思ふことおあ

おつた三年で変

バツと見た暖問のイメーじが以前とちがう

おにおどろく

マヌケをはずすと若く見える だがちがうた

部分が見える この人に二人な 要緊案が

あつたのかと感じ

表面に感情をみせたり出さるから他人

最近 冗談が出来るしよく笑う

漫才をはいじめると言つたりしていい

ほかの拍子にマヌケおあすおた

満面にぎやかな表情しわ

思わず「いいからお花」と言いたくなる

マエウを取って変うやい人もいる

マエウをさす前と同じまかお

生活本変うないのどなく

年よりのコース比のつて来花かおだ

自分のかおも大きめの鏡で見う

ほほり同木おちこんな年より見たこと

つるやーと思う

変化はわかうなかつた

2022
4/30